

3 東部地区

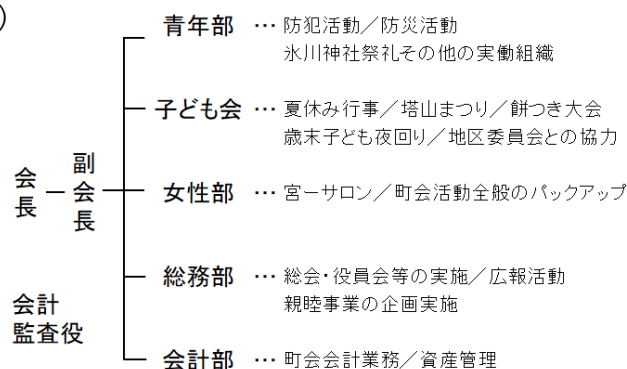
27 宮一町会

歴代会長

初代 石森 桑次郎(昭和29年4月～昭和47年3月)
二代 黒田 梅次郎(昭和47年4月～昭和49年3月)
三代 黒田 一男(昭和49年4月～平成17年3月)
四代 松本 富雄(平成17年4月～令和3年3月)

現役員

会長 村上 昌子
副会長 山口 芳江・宇田川 拓也



※町会 全体活動 … 防犯パトロール／歳末夜警／交通安全運動
(区・警察・消防との連携)

町会のあゆみ

当町会は、戦前に「宮園通り一丁目町会」として発足した。終戦によってその活動は中断したが、昭和29年の氷川神社の祭礼を契機に再発足することとなった。その後、宮園通り一丁目という住居表示が変更となり、道路を挟んで東中野と中央に分かれることになり、名称を「宮一会」と改める。令和3年宮一町会と改称し、現在に至る。

町会の活動状況

町会員相互の親睦と福祉という発足当時の目的に沿って、年1回の定期総会、月1回の理事会で情報を共有し、氷川神社の祭礼に際しては神輿巡行などで町会内の親睦を図り、結束を強めている。

○高齢者対策

町会員の高齢化が進み高齢者世帯や独居も増えてきた。そこで、町会内の支えあいの一環として中野区から提供される見守り名簿に沿って、希望する世帯への見守りを実施している。年に1度程度ではあるが、近隣の理事による訪問に対して「嬉しい、安心できる」等の言葉が聞かれるようになった。また、月に一度「宮一サロン」を実施し、高齢者の居場所づくりに努めている。敬老の日には75歳以上の町会員に敬老祝いを配布している。

○青少年育成

少子化が進む中、夏休みの映画鑑賞やもちつき大会、年末の子ども夜回り等、親子で参加できる行事を実施し、町会への愛着を高める活動を進めている。また、東部運動会や塔山まつりなど、地域の行事にも町会として参加している。小中学校の新入生には入学祝いを配布している。

○防災・防犯対策

日本各地で地震や水害などの天災が多発し、首都圏でも直下型地震の発生に備えようとする機運が高まっている。町会として防災時の備蓄品を購入したり、防災訓練への参加を呼びかけるなど、防災活動を進めている。また、小学校の下校時に月2回のパトロール、月1回は「宮一美化デー」としてクリーン作戦を行っている。年末には夜警を実施。文化活動として落語家を招いて宮一寄席を実施している。

○今後の課題

若い世代、単身世帯などの町会への関心が薄らいでいる。しかし、防災面でも少子高齢社会における支えあいの面においても町会の重要性は高まっている。関心の薄い層をどのように町会に呼び込むかが課題である。

